



県評しずおか

静岡県労働組合評議会

〒420-0851

静岡市葵区黒金町55番地

交通ビル3階

TEL 054-287-1293

FAX 054-286-7973

Eメール kenpyo@cy.tnc.ne.jp



熱海市を元気に歩く県内通し行進者の磯部さん（中央）ら行進者＝19日

被爆80年・被爆者とともに 核兵器のない世界を目指して

2025年国民平和行進

2025年原水爆禁止国民平和行進は、被爆80年を記念し5月6日に東京・夢の島からスタートしました。行進の目的は、核兵器廃絶と被爆者援護を訴えるもので、核兵器禁止条約への参加を促進し、平和の重要性を広めることです。5月19日に静岡県入りし31日までの13日間多くの方が行進に参加し成功させました。

ロシアのウクライナ侵略開始から4年、イスラエルによるガザ・中東での殺戮と戦闘、ロシアの核ドクトリン改定など核使用を含む危険な事態が今なお続いています。台湾をめぐる米中関係、朝鮮半島の緊張、アメリカが主導する日本を含む軍事ブロックの対応と大軍拡など「軍事」対「軍事」「核」対「核」の危険な悪循環が世界を分断し、平和を脅かしています。しかし、いまの世界は一部

部の大国によって支配される時代ではありません。国連憲章と国際法に基づく紛争の平和的解決、核兵器廃絶を求める流れが世界の主流です。平和を求めて団結し、軍事ブロックや自国第一主義ではなく、国連憲章を擁護する立場から行動しています。

兵器禁止条約の署名国は国連加盟国の過半数に迫る94か国、批准国は73か国にひろがっています。日本被団協のノーベル平和賞受賞への支持と共感の世界中にひろがり、核兵器禁止条約への参加を求める運動に勢いを与えています。最大の焦点は、唯一の戦争被爆国にふさわしい役割を日本政府に果たさせることにあります。石破茂首相は、施政方針演説で、日本被団協のノーベル平和賞受賞も、1月22日に発効4周年を迎えた核兵器禁止条約にも一言も触れず、日米軍事同盟（『核の傘』）のいっその強化を表明しました。日本政府に被爆国にふさわしい役割を果たさせるために、米国の核抑止力



「核の傘」への依存をやめさせ、核兵器禁止条約への参加を迫りましょう。
湯河原・熱海平和行進（熱海駅～なぎさ公園）

湯河原での引き継ぎ集会

静岡・焼津平和行進（青葉公園～焼津市内）5月25日午前の平和行進は静岡コース、50人の参加です。青葉公園をスタートし、弥勒公園まで歩きまわりました。毎年歓迎の旗を掲げてくれる飲食店の方や、小学生の元気な声に力をももらいました。午後は、第五福竜丸のふるさと、焼津コースです。浜当目にある弘徳院での平和講座で学習です。参加者35名で高校生も参加しています。行進をしたあとの平和集会では、50名の参加で、久保山愛吉さん・すずさんの思いを紡ぐ「ばらの祈り」朗読劇も行われました。



焼津での平和講座

湖西・愛知引き継ぎ（鷺津駅前～新所原）原水爆禁止静岡県平和行進は最終日。朝9時に鷺津駅南側の公園で出発式で



若者憲法集会のデモ行進

「戦争する国」反対 デモに1100人

2025若者憲法集会

石破茂政権がすすめる「戦争国家」づくりに対し、若者が連帯して声をあげる若者憲法集会&デモが5月25日、東京都内で行われました。2014年以



新所原での引き継ぎ集会

ず、市の職員の方々の歓迎を受けました。メッセージとペナント等を受け取り静岡県評から菊池議長があいさつしました。新所原までJRで移動し、最後の行進。南上ノ原公園で愛知県の皆さんが待っていてくださいました。静岡も愛知も「青い地球を」を一斉に歌いながらの入場。平和行進が今年も無事に愛知県へ引き継がれました。

あなたの願いが叶う 政治への転換を！

第27回 参議院議員選挙2025年

参議院選挙は、7月3日公示・7月20日投票の日程が有力視されています。私たちの要求には政治と切り離せないものが多くあります。（最賃や物価高対策など）要求実現のためには自公政治を転換するしかありません。しかし、昨年の衆議院選挙で少数与党に追い込んだにも関わらず、一部の野党が「密室協議」に応じることで与党の延命に手を貸す状況となっています。今回の選挙では、政権与党を

少数に追い込むと同時に、与党を補完する野党にも国民の審判を下す必要があります。静岡県評は、具体的な取り組みとして、①全労連の国民的要求、静岡県評の大会要求を基本としながら、職場や地域で「こんな政治が実現してほしい」という夢や希望」を対話し、学びあいます。②政治の転換と要求実現のため、棄権せずにかかわらず投票に行こうと皆さんに呼びかけています。

一コマ漫画



労働運動とジェンダーについて、また平和とジェンダー平等は一体のものであることを深く理解することができました。『憲法は労働三権の行使を促している』という28条の紹介に励まされました。1日通して思いっきり学び楽しむことができました。今後の組合活動にも存分に生かしていきたいと思えます」との感想が寄せられました。

三重の女性部はパワフル

東海ブロックと全国女性部交流集会

全労連東海北陸ブロック 女性交流集会in三重

5月10日11日に三重県鳥羽市で開催されました。ブロックの各県からは29名が参加し交流しました。女性部に人がいないと長らくブロック集会をやらなかった三重県労連でしたが、フタを開けたらたくさんいました。1日目は木村夏美弁護士から「憲法とジェンダー」と題し、選択的夫婦別姓制や共同親権について憲法との関係や反対論の矛盾点などが話されました。講演後は、津生協病院の理学療法士の松阪美樹さんとともに体をほぐすストレッチ



東海北陸女性交流集会の参加者

チ。今井一久さん（元原発反対三重県民会議事務局次長）からは「原発立地をやめさせた三重県民のたたかい」と題した、芦浜原発計画を撤回させた住民運動についての話を聞きました。2日目は、各県女性部の活動報告や、新規組合が立ち上がった元気の出る話、女性役員の減少の悩みなど、活発に意見交換をおこない交流しました。活動を次世代につなぐためにも、組合員の増勢、非正規の組織化をすすめることなどが意思統一されました。来年は静岡県で開催予定です。

全労連産・地方 女性組織交流集会

5月18日午前は講師に中村果南子さん（一般社団法人ちやぶ台返し女子アクション）を迎え『性的同意と第三者介入のワークシヨップ』を行い、午後は交流集会でした。ワークシヨップでは『介入に必要な知識とスキルを周囲が身につける』

危険な浜岡原発は今すぐ廃炉に

浜岡原発停止14周年行動

中部電力が政府からの要請により、浜岡原発を停止してから14年目の節目となった5月14日、浜岡原発廃炉・日本から原発をなくす静岡県連絡会（原発をなくす静岡の会）は中部電力静岡支店と静岡県に対し、浜岡原発の永久停止・廃炉を要請しました。また、静岡市青葉公園では昼の街頭宣伝を行い「浜岡原発よ永久に眠れ」などのプラカードや横断幕を持ち市民にアピールしました。3月31日に、内閣府が公表した「南海トラフ巨大地震新被害想定」は、静岡県内の犠牲者を最大で10万人以上とし、津波、土砂崩れ、火災、道路の寸断、建物倒壊、インフラへの被害等、静岡県に甚大な被害が発生することを予測しています。南



マスクも注目する中で県の担当者へ要請書を

国が傍観せず止めることでハラスメントを容認しない社会規範をコミュニティにおいて作る」やなぜ第三者介入が大切なのかを具体

的にお話しして下さりわかりやすかったです。女性だけでなく男性を含めたワークシヨップも必要だと思いました。

会や交渉）を重視してきました。

別組合です。また新しい労働運動の代表例として学校非正規労働者による労働組合があります。ま

日韓ともに、従来の企業主義的労働市場の転換が進められているにもか

労働組合が代表例として学校非正規労働者による労働組合があります。ま

韓国は積極的な提携戦略の行使（不安定労働の包摂、社会団体との連携）とアウトサイダー戦略（デモ、ストライキ、審議会からの脱退）を重視してきました。日本は消極的な提携戦略の行使とインサイダー戦略（審議

韓国労働組合は産別化を進めており、金属労組と病院労組が代表的な産

競争圧力に 対抗する労働組合

静岡県労働研究所
No. 94



報告する安周永氏

5月15日、定例研究会が開催されました。「転換期の労働政治―多様化する就労形態と日韓労働組合の戦略」と題して、安周永氏が報告しました。

韓国は積極的な提携戦略の行使（不安定労働の包摂、社会団体との連携）とアウトサイダー戦略（デモ、ストライキ、審議会からの脱退）を重視してきました。日本は消極的な提携戦略の行使とインサイダー戦略（審議

韓国労働組合は産別化を進めており、金属労組と病院労組が代表的な産

職場の安全衛生を実現するために 静岡県安全健康センター No. 105

職場の熱中対策 事業者に義務化・罰則付き

6月1日から職場での熱中症対策が事業主に義務化されました。（労働安全衛生規則の改正・施行）それによると屋内だけでなく屋外作業にも対象が拡大され、熱中症の恐れがある労働者を早期に発見し連絡できるようにする体制の整備、重症化を防ぐために応急処置・医療機関への搬送

熱中症が深刻な労働災害になっています。熱中症で4日以上の休業となった人（労災保険適用）は、昨年1200人超、死者も31人（30人以上は3年連続）となっています。世界的な高温化で限界を超えた暑熱の為、熱中症を引き起こし気づかぬうちに命まで奪う（サイレントキラーと呼ばれる）に、さらに長期的に深刻な慢性疾患（循環器・呼吸器・腎

臓）を引き起こすなども報告されています。（ILO）熱中症は地球温暖化によるやむをえない事態と考え、それが労働現場で起こった場合に「労災」と結びつけない傾向がないでしょうか。

リニア新幹線工事の建設中止もとめ 国会請願署名を提出

静岡県リニア工事ストップ署名の会

リニア中央新幹線・南アルプストンネルの建設が、南アルプスの自然と大井川の水に及ぼす影響を心配する、静岡県リニア工事ストップ署名の会は、5月15日「トンネル工事、及びリニア中央新幹線事業全体の再検討を国会で行うことを請願する署名」12687筆を、署名の趣旨に賛同した衆参合わせて8名の国会議員の紹介を得て国会に提出しました。



講演する緒方氏

静岡県評は5月18日「政府が求める労基法「改正」とは何か？2025労基法報告を読む」というテーマで南山大学教授の緒方桂子氏を講師に学習会を開催しました。約40人がオンラインも含めて参加し、労働基準関係法制研究会の報告書を中心に政府の狙い、労組として議論すべき課題を学びました。

また、全労連は行動提起として、学習や署名、宣伝行動の取り組みを行い、労働基準法阻止の実現とともに、職場で長時間労働根絶・時短を要求し、まずは職場から労基法を守らせることを実現していくと提案しています。



本村議員（共産党）へ要請署名を

この署名活動は、工事開始を性急に求めるJR東海の圧力の下で、全国新幹線鉄道整備法を悪用して民間別組合です。また新しい労働運動の代表例として学校非正規労働者による労働組合があります。ま

緒方氏は「法的基準を調整・代替する仕組み」について、労使協定を介した労基法が定める原則から逸脱する仕組みであると指摘。「調整・代替」は現行制度において労働者の健康や安全に危害を加える可能性が

低いもの（有休の時間単位付与など）から非常に高いもの（高プロ制度など）まである。「調整・代替」の必要性はあるが、労基法1条の「労働条件は人たるに値する生活を営むための必要を充たすべきもの」と書かれているように、「人たるに値する生活」の幅を超えてはならないと述べました。最後に、報告書は多様化の中で選択できる働き方を支えるスタンズで「調整・代替」で長時間労働を広げようとしているが、それに対抗する軸は「人たるに値する生活」の形について家族はどうなるのか、自分の将来は？などの視点が必要で、労組として人生の豊かさなどについて議論を深めていく事が重要だ、と私たちに投げかけました。

また、全労連は行動提起として、学習や署名、宣伝行動の取り組みを行い、労働基準法阻止の実現とともに、職場で長時間労働根絶・時短を要求し、まずは職場から労基法を守らせることを実現していくと提案しています。